

令和 **8** 年度

# 医工連携人材育成講座

～医療機器産業への新規参入、事業拡大のための中核人材育成に向けて～

東京都医工連携HUB機構では、都内中小企業を対象に、医療機器産業への参入及び事業拡大に向けた医工連携人材育成講座(全10回)を開講します。

本講座では、医療機器産業・医工連携の最前線で活躍されている医療従事者、研究者、医療機器メーカー・ディーラー、ものづくり企業など、多様な講師陣をお迎えし、医療機器開発の入口である臨床ニーズの話から法規制、保険収載、知財、マーケティングまで、事業化に必要な基礎的な知識を体系的に学びます。

全10回の受講を前提としており、カリキュラム全体を通して、単発のセミナーでは得られない医療機器ビジネスの全体像の深い理解を目指します。

本講座を通じて、医療機器産業への新規参入や事業拡大に向けて、キーパーソンとのネットワークを構築し、業界を俯瞰しながら新たなビジネスの機会を創出する人材の育成にご関心のある企業の皆様は、是非ご参加ください。

**参加費  
無料****定員  
70名****受講対象****都内中小企業枠(60名)／製販企業枠<sup>※</sup>(10名)**

<sup>※</sup> 製販企業枠は、会員登録をしている大企業または都外の中小企業に該当する製販企業が対象です。

**申込締切日****令和8年5月19日(火)****開催場所****第1回のみ会場開催：日本橋ライフサイエンスビルディング 2階 大会議室**  
**第2回以降はオンライン開催** (東京都中央区日本橋本町2丁目3-11)**修了証****全10回のうち8回以上の講座に出席<sup>※</sup>した受講生の皆様には修了証をお渡しします。**

<sup>※</sup> 当日参加とアンケートへの回答をもって出席となります。

**▼カリキュラム(10回連続講座 / 15:00-17:00)**

本講座は全10回を通して体系的に学ぶ連続プログラムです。

第2、3、4、6回については、別途開催の「医工連携セミナー」との合同開催です。

当該講座のみスポットでの参加をご希望の方は、医工連携セミナーよりお申し込みください。

<sup>※</sup> 医工連携セミナーの申込受付は、開催日の約1ヵ月前を目途に、当機構のホームページにて開始いたします。

6月 2日(火) 第1回 医工連携の概論

6月 12日(金) 第2回 薬機法下における医療機器ビジネスの基礎

**セミナー  
合同開催**

6月 30日(火) 第3回 医療機器の保険収載の基礎 前編

**セミナー  
合同開催**

7月 15日(水) 第4回 医療機器の保険収載の基礎 後編

**セミナー  
合同開催**

7月 30日(木) 第5回 医療機器流通の実際 -医療機器を売るために知っておくべきこと-

8月 5日(水) 第6回 医療機器分野への参入・医工連携の実践

**セミナー  
合同開催**

9月 11日(金) 第7回 医療従事者と医工連携 -看護師・臨床工学技士・理学療法士-

10月 6日(火) 第8回 医療現場のアイデアと知的財産

10月 21日(水) 第9回 事例から学ぶ海外展開

11月 26日(木) 第10回 これからの医工連携・医療機器開発の展望・期待

**お問合せ先**東京都医工連携HUB機構(運営受託事業者：日本コンベンションサービス株式会社)  
電話：03-5201-7321(平日9:00～17:00) Eメール：info@ikou-hub.tokyo

# 令和8年度 医工連携人材育成講座 カリキュラム詳細

医工連携人材育成講座は、都内中小企業を対象とした、全10回の連続講座となります。  
全ての回にご参加いただくことで体系的な学びを得られます。ご参加できない回がある場合には事務局までご連絡ください。申込先着順で定員となり次第、締め切らせていただきます。

第1回のみ会場開催（オンライン配信なし） / 第2-10回 オンライン開催

開催時間：いずれの回も 15:00 - 17:00

開催日	テーマ	講師
第1回 6.2火	<b>医工連携の概論</b> 医工連携とは何か？ものづくり企業が無理なく円滑に取り組むにはどうすればよいのか？初回講座では、医工連携の全体像と基礎を学びます。	▶ 一般社団法人 日本医工ものづくりコモンズ 理事長 谷下一夫 氏 ▶ 東京都医工連携 HUB 機構 プロジェクトマネージャー 柏野 昶彦
第2回 6.12金	<b>薬機法下における医療機器ビジネスの基礎</b> <small>セミナー合同開催</small> 医薬品医療機器等法（通称：薬機法）は医療機器の製造販売等に対する規制であり、医療機器ビジネスを行うための基本的なルールです。このルールを正しく理解して効率的に取り組めるよう、その基礎と最新動向、押さえるべきポイントを学びます。	▶ 一般社団法人 米国医療機器・IVD工業会 デジタルヘルス委員会 委員長 大竹 正規 氏
第3回 6.30火	<b>医療機器の保険収載の基礎 前編</b> <small>セミナー合同開催</small> 日本では、上市した医療機器が臨床で使われる際、美容領域などを除き、保険診療下で使用されます。この講義では、医療機器の保険収載に関する制度の基礎及び医療機器の保険上の評価の枠組みについて学びます。	▶ 薬事コンサルタント 河原 敦 氏
第4回 7.15水	<b>医療機器の保険収載の基礎 後編</b> <small>セミナー合同開催</small> 上市の際に、どのように保険上の評価がなされ、保険収載されるかは新規医療機器の事業化において極めて重要です。前編のおさらいと、最新動向、実践で活かすために押さえるべきポイントを学びます。	▶ 薬事コンサルタント 河原 敦 氏
第5回 7.30木	<b>医療機器流通の実際 -医療機器を売るために知っておくべきこと-</b> 医療機器開発では製品コンセプトの検討段階から出口戦略を考えることが重要です。医療機器の流通の仕組み、マーケティングの考え方、取り組み方のポイントを学びます。	▶ 株式会社ホギメディカル 製品戦略部 製品戦略課 チーフビジネスエキスパート 矢部 文明 氏
第6回 8.5水	<b>医療機器分野への参入・医工連携の実践</b> <small>セミナー合同開催</small> ものづくり企業による異業種から医療機器産業への参入、医療現場のニーズをもとに製品化を実現したプロセス、市場展開するにあたって直面する課題への挑戦などについて、医工連携の具体的事例から学びます。	▶ オリオン・ラドセーフメディカル株式会社 代表取締役 三浦孝由 氏 ▶ 株式会社志村精機製作所 専務取締役 浅野 雄三 氏
第7回 9.11金	<b>医療従事者と医工連携 -看護師・臨床工学技士・理学療法士-</b> 医工連携を円滑に進めるにあたり、医療現場への理解は必要不可欠です。3つの専門職（看護師・臨床工学技士・理学療法士）の役割、医療機器への関わり方、職種特有の視点を知り、医療従事者目線での医工連携の考え方を学びます。	▶ 千葉大学大学院看護学研究院 講師 雨宮 歩 氏 ▶ 一般社団法人東京都臨床工学技士会 医工連携部会長 順天堂大学 革新的医療技術開発研究センター 仲條 麻美 氏 ▶ 順天堂大学 保健医療学部理学療法学科 教授 松田 雅弘 氏
第8回 10.6火	<b>医療現場のアイデアと知的財産</b> 新たな治療を生み出すマイクロサージャリー（手術用顕微鏡下でおこなう微細な外科手術）における医療機器開発ニーズ、医工連携の可能性を知るとともに、医療現場で生まれたアイデアに含まれる知的財産の保護・管理の重要性について学びます。	▶ 東京大学 名誉教授 光嶋 勲 氏 ▶ かみや特許事務所 弁理士・中小企業診断士 神谷 直慈 氏
第9回 10.21水	<b>事例から学ぶ海外展開</b> 医療機器の海外展開には、各国で異なる規制や販路開拓、文化的背景の違いなど様々な課題があります。自社の特徴や業態を生かしたグローバル戦略およびその実践的知見や成功要因について、実際の事例を通して学びます。	▶ 株式会社ホームイオン研究所 医療機器事業本部 海外事業部 課長 梶川 高志 氏 ▶ 株式会社イナミ 常務取締役・グローバル COO 東口 貴光 氏
第10回 11.26木	<b>これからの医工連携・医療機器開発の展望・期待</b> 新たな技術や発想によって医療現場の課題を解決し、質の高い医療を実現するためには、医工連携によるアプローチが重要です。医療機器開発の現場を理解し、医工連携を通じてアイデアを事業化へと繋げる視点を学び、プロジェクトを成功に導くための基盤となる考え方を養います。	▶ 鳥取大学医学部 医学科 医学教育学講座 教授 / 学長特別補佐 一般社団法人 日本医工ものづくりコモンズ 理事 植木 賢 氏 ▶ オルパヘルスケアホールディングス株式会社 代表取締役社長 兵庫県立大学 特任教授 一般社団法人 日本医工ものづくりコモンズ 理事 前島 洋平 氏

## お申込み方法

東京都医工連携 HUB 機構のホームページからお申込みください。  
尚、本講座の受講は、東京都医工連携 HUB 機構への会員登録が必須です。

お申込み URL [https://ikou-hub.tokyo/contents/event/koza\\_2026/](https://ikou-hub.tokyo/contents/event/koza_2026/)



※ お申込者多数の場合は、ご希望に沿えない場合もございます。お早めにお申込みいただきますようお願いいたします。  
※ お申込み受理後、確認メールをお送りします。届かない場合は事務局にお問合せください。  
※ 講演資料等の提供は致しかねます。